

第19回 定例ワールドカフェ (5/20) 感想 (2024.2.7 現在)

話題提供： 行政の心理相談員から見たひきこもりや生活保護世帯の様相・問題点

提供者：平木佳子 (寝屋川市子どもを守る課子ども相談 心理相談員・

NPO 法人淡路プラッツ非常勤スタッフ)

当日参加者：12名

感想 (Google Form) 回答者：5名 (分野\_教育3名、医療3名) 重複回答

- ・いつも、平木さんには教えていただくことばかりです。親と子の寄り添い支援、私も今後も頑張っていこうと思います。モヤモヤ体験、介護職の時に色々しました。また、思い出しながら頑張ります。後、取り扱い説明書、こんな時はこうしてみよう！みたいなのが本当に一人一人に違っても一度作ることで、また気づきそこからいいものが生まれる。今年度は計画、プランを考え、次に実践までいけたらなあーと思います。
- ・生活保護の話をもっと聞きたかったです。
- ・本日は、貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。不登校(完全な不登校ではないものも含め)については、自分の子どもが中2で、同じクラスに4人いるというのを聞いていて、学年全体で30人近くいる現状を目の当たりにし、世の中自体が無理してまで行かないでいいという流れになっているのは理解出来るのですが、あまりにも学校の先生等もほぼノータッチ、本人の意志に任せる流れが強く、今はそれでいいかもしれないけど、この先の人生の責任まではやっぱり親や本人になるので、どこかできっかけを積極的に作る機会もあるんじゃないかと勝手にモヤモヤしておりました。このような素敵な支援があるので、グレーのまたその薄いグレーの子達やご家族にもこの情報がどんどん届いて欲しいな。そのために私は何が出来るのだろうかを考える時間にもなりました。ありがとうございました。
- ・社会問題は、問題であることはわかっているけど、その具体的な解決方法、援助方法がわからない、そして実際に援助している人たちの姿が見えないことがあるなあと思いました。もっと活動が、多くの人に見えるようになるといいなあと思います。そのために何が出来るのか、考えていかないといけないですね。
- ・現在、在籍している生徒の中にも生活保護世帯の方がいます。学費は社会福祉協議会から教育支援資金を申請し、対応しています。子どもが、家庭環境(経済面)で将来を左右されないようにするにはどうすればよいかを考え、生徒・保護者と関わっています。特に進路決定に向けてです。その意味で、平木さんの「負の連鎖・貧困の連鎖にならないために」とのお話はとても参考になりました。